

第10期 報告書

2006年4月1日 ▶ 2007年3月31日

株式会社アイロムホールディングス

<http://www.irom-hd.co.jp>



この報告書は、古紙配合率100%再生紙と、環境に優しい大豆油インキを使用して印刷しています。

〒141-0032 東京都品川区大崎1-2-2



I'ROM
HOLDINGS

healthcare / concierge / company

株式会社アイロムホールディングス

● SMO事業



- 臨床試験の実施にかかわる支援
- 新治験市場
- ヘルスケア

● メディカルサポート事業



- クリニックモール
- メディカルソリューション
- 医療機器事業
- 在宅検査キット

● 医薬品等の販売事業



- 調剤薬局やドラッグストアにおける医薬品や健康食品の販売
- 医薬品についての適切な説明、医療や環境に関する相談・情報提供の可能な環境の整備

● 医薬品等の製造販売事業



- 医療用医薬品の製造・販売・受託製造
- ウォーターサプリメント開発をはじめとした水事業
- 新素材事業

● 人材コンサルティング事業



- 人材派遣・人材紹介
- 紹介・紹介予定派遣・教育研修

● デザイン・プロダクツ事業



- 統合医療サポート事業としての各種デザインプロダクツ
- コミュニケーションデザインパッケージの提供

Message

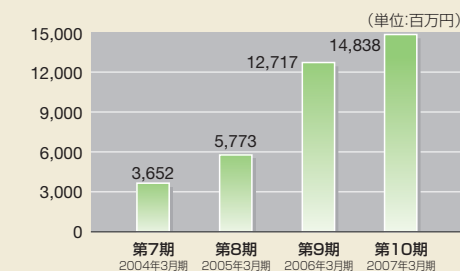
メッセージ

アイロムグループは、新薬の治験支援事業をそのルーツとして成長し、今年4月にお蔭様で創業10年を迎えることが出来ました。これも株主の皆様を始めとする全てのステークホルダーのご支援の賜物と感謝しております。

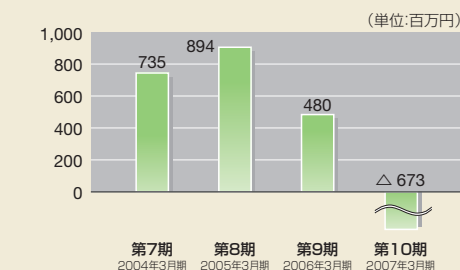
当社グループは今後とも、医療・ヘルスケアの分野において生活者自身が健康管理（セルフメディケーション）のできる環境づくりに邁進し、皆様方の期待と信頼に応えられるよう全役職員一丸となって努めてまいります。そして、持続的成長が可能な経営体質を確立し、企業価値を一層高めていく所存でございますので、今後とも皆様方からの更なるご支援、ご鞭撻を賜りますよう、ご挨拶かたがた重ねてお願い申し上げます。

代表取締役社長 三宅 鐵宏

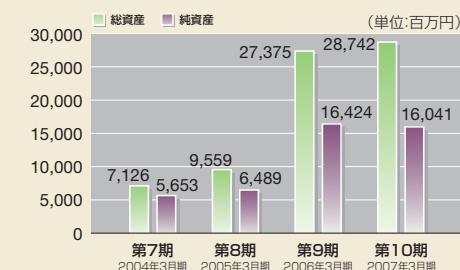
連結売上高



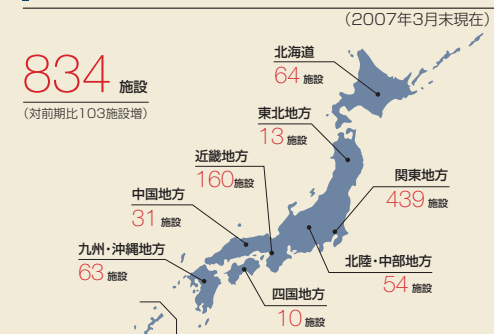
連結当期純利益



総資産/純資産



地域別提携医療機関分布状況



Achievements 2006-2007

2006年 8月 秋葉原にアンチエイジング（抗加齢）クリニックモールを開設
 (株)I&L Anti-Aging Management (株)アイロム
 (現(株)アイロムホールディングス)と(株)LTTバイオ
 ファーマの合併会社)の支援により『UDXクリニ
 ックモール』を開設。

10月 持株会社体制へ移行

経営資源の効率的な配分及び機動的な意思決定
 を可能とすべく、持株会社体制への移行を実施。
 商号変更により「株式会社アイロムホールディング
 ス」として新生スタート。

10月 高カロリー輸液用混合ビタミン剤「M.V.I.」の事業譲受け
 当社子会社のアイロム製薬(株)は、久光製薬(株)から
 高カロリー輸液用混合ビタミン剤「M.V.I.」に関す
 る事業を譲り受けました。

2007年 1月 業務の効率化と連携強化のために本店を移転
 各子会社のオフィスを集約し業務の効率化と事業
 部間の連携強化を図ることを目的に本店所在地を
 変更。

1月 CRO事業を目的とした100%子会社を設立

新たに設立した子会社、(株)アイクロスでは、モニタ
 リング業務を中心とした治験全般にわたる幅広い
 支援を行ってまいります。

ウォーターサプリメント第一弾 「水の元素（水素水）」を発売

2006年11月、当社の子会社であるアイロム製薬(株)より、
 ウォーターサプリメント「水の元素ーみずのげんー（水素水）」
 が発売されました。当社グループは＜統合医療サポート企
 業＞として人々の自主的な健康管理を推進するため、かねて
 よりヘルスケア商品の市場投入の準備を進めてきました。最
 近では、成人男性に蔓延するメタボリックシンドローム対策や
 健康保険法の改正など、疾病予防へむけた医療環境の変革
 もあり、自己の健康管理の重要度がさらに高まってきており
 ます。そうしたなか、輸液・注射剤の製造技術において高い評
 価を持つアイロム製薬(株)が、その実績とノウハウを最大限に
 発揮し、水素以外に何も添加しない、安全な形で水素を溶存
 した還元力の高い水を開発、商品化することができました。
 今後、販売にあたっては当社グループの展開する薬局や提携
 医療機関、ビューティヘルスケア商品の取扱店等を中心に積
 極的なPR活動を展開し市場への浸透を図ってまいります。

水の元素 mizu no gen

脱、メタボリック宣言。
 優しく自然な形で代謝を促す
 水の還元力に注目した、
 まったく新しい
 ウォーターサプリです。

本件に関するお問合せ先
 アイロム製薬株式会社
 受付センター（10:00～20:00）
 ☎0120-166-432



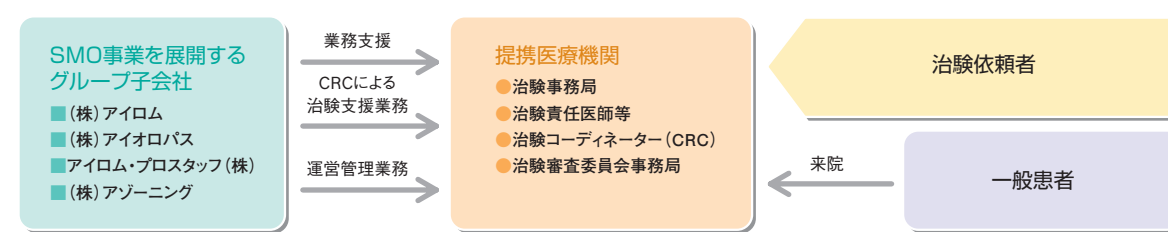
適正かつ円滑な治験の実施を 支援するSMO事業の強化・拡大

SMO (Site Management Organization) とは、医療機関等と
 提携し適正で能率的な治験の実施を支援する組織を意味します。
 SMOは、地域に密着した比較的小規模な病院や開業医の治験参
 加を支援することによって、治験業務全体の品質向上・スピードア
 ヅプを実現する役割を果たします。アイロムグループでは子会社の
 (株)アイロム、(株)アイオロパス、アイロム・プロスタッフ(株)、(株)アゾー
 ニングがSMOを主体とした事業を展開しています。当社グループ
 では今後、SMO事業の強化に向けて受託対象先の拡充を行って
 いく方針です。現在、当社グループが提携する医療機関数は834
 施設（平成19年3月末現在）ですが、平成20年3月までに
 1,000施設まで拡大する計画です。そのために既存の新薬開発
 製薬会社や医療機器メーカーに加えて、Phase I、オーダーメイ
 ド医療、学会関連、また食品メーカー、化粧品メーカーなどへの
 積極的なアプローチを展開しております。今後も円滑な治験の実
 施を推進し、日本の医薬品開発環境の改善に貢献してまいります。

受託先拡充の戦略



SMO事業の業務フロー



Review of Operations

事業概況



SMO事業

売上高：2,641百万円（前年同期比10.6%減）
営業利益：647百万円（前年同期比57.7%減）

当事業におきましては、北海道から沖縄まで全国規模の事業基盤を確立し、提携医療機関を拡大するとともに、日本においても心臓安全性評価に関するQT試験の義務化が必至と考えられることから、先駆的にQT試験のインフラ整備を行い、新たに第Ⅰ相試験の支援に着手することで治験実施施設のネットワーク強化を進め、第Ⅰ相から第Ⅳ相までの総合的な臨床試験支援体制の構築を実現いたしました。当連結会計年度におきましては、前連結会計年度から進出しております第



人材コンサルティング事業

売上高：270百万円（前年同期比15.0%減）
営業利益：6百万円（前年同期比98.9%増）

当事業におきましては、引き続き新規クライアントの増強に注力し、医療機関・民間企業・薬局・ドラッグストア等への医療関連スタッフの派遣の拡充に努めました。また、医薬品等についての適切な説明、医療や健康に関する相談・情報提供の可能な質の高い薬剤師の育成が急務とされる背景を受け、人材の育成にも注力いたしました。スタッフの確保に関しては厳し

連結売上高



Ⅰ相分野で見込んでおりました臨床試験の受注が翌連結会計年度に延期になった結果、減収となり、営業利益は、今後の大型の臨床試験に対応するためのCRC（治験コーディネーター）採用による売上原価の増加により減益となりました。



い環境下であったため、減収となりました。しかし、販売費及び一般管理費の削減に努めた結果、大幅増益となりました。



メディカルサポート事業

売上高：1,494百万円（前年同期比33.8%減）
営業利益：122百万円（前年同期比77.7%増）

当事業におきましては、既存のクリニックモールの稼働に加え、当連結会計年度より介護用品「フローレット」の販売を開

始いたしました。販売ネットワークの構築に遅れが生じた結果、売上高は減収となりました。しかし、販売費及び一般管理費の削減に努めた結果、営業利益は大幅増益となりました。



医薬品等の販売事業

売上高：5,891百万円（前年同期比21.8%増）
営業損失：618百万円（前年同期は、営業損失202百万円）

当事業におきましては、地域に密着した健康情報の発信をテーマとする「ファルマルシェ薬局」の展開に注力するととも

に、(株)アポтека、(株)ウィング湘南の子会社化及び(株)テン・ドラッグの株式譲渡等の戦略的な事業再編を進めましたが業績の改善には今暫く時間を要することから減益となりました。



医薬品等の製造販売事業

売上高：4,264百万円（前年同期比95.4%増）
営業損失：519百万円（前年同期は、営業損失0百万円）
※前年同期は下半期のみ売上を計上しております。

当事業におきましては、医療用医薬品、動物用医薬品、治験薬の製造受託等の積極的な事業展開に加え、新たに医薬品と食品の中間製品の製造販売事業に着手し、第1弾として昨年11

月よりオリジナルブランドのウォーターサプリメント「水の元素ーみずのげんー（水素水）」の製造販売を開始しております。一方、連結子会社化に伴うのれんの償却や新規事業の設備投資の増加の影響により減益となりました。

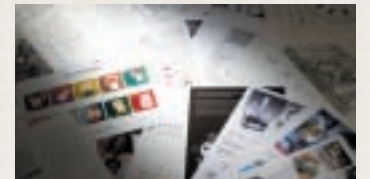


その他の事業

売上高：275百万円（前年同期比64.1%増）
営業利益：32百万円（前年同期比2.3%増）

当事業におきましては、デザイン業務、不動産管理、貸付に伴

う利息収入等に加え、平成19年1月に設立した(株)アイクロスによるモニタリング業務を中心としたCRO業務を展開した結果、増収増益となりました。



連結貸借対照表

科 目	第9期	第10期
	2006年3月31日現在	2007年3月31日現在
資産の部		
流動資産	15,386,564	18,220,757
現金及び預金	6,401,871	5,431,859
受取手形及び売掛金	2,762,861	3,262,896
その他	6,433,856	9,799,034
貸倒引当金	△ 212,025	△ 273,031
固定資産	11,989,104	10,521,717
有形固定資産	6,237,045	4,896,993
建物及び構築物	2,280,795	2,173,586
土地	2,459,714	1,795,576
その他	1,496,534	927,831
無形固定資産	1,601,967	1,264,783
投資その他の資産	4,150,091	4,359,941
投資有価証券	2,262,095	2,317,550
関係会社長期貸付金	62,384	138,750
その他	1,825,721	1,903,732
貸倒引当金	△ 110	△ 92
資産合計	27,375,668	28,742,475

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：千円)

科 目	第9期	第10期
	2006年3月31日現在	2007年3月31日現在
負債の部		
流動負債	8,568,567	11,515,764
支払手形及び買掛金	1,716,792	1,528,660
短期借入金	4,665,030	8,069,020
未払法人税等	565,127	131,564
その他	1,621,616	1,786,519
固定負債	2,018,983	1,185,025
負債合計	10,587,551	12,700,789
少数株主持分		
少数株主持分	363,637	—
資本の部		
資本金	6,281,923	—
資本剰余金	7,572,923	—
利益剰余金	2,552,150	—
その他有価証券評価差額金	17,482	—
資本合計	16,424,480	—
負債、少数株主持分及び資本合計	27,375,668	—
純資産の部		
株主資本	—	15,596,090
資本金	—	6,286,440
資本剰余金	—	7,577,440
利益剰余金	—	1,732,210
評価・換算差額等	—	7,136
少数株主持分	—	438,458
純資産合計	—	16,041,685
負債純資産合計	—	28,742,475

連結損益計算書

科 目	第9期	第10期
	2005年4月 1 日から 2006年3月31日まで	2006年4月 1 日から 2007年3月31日まで
売上高	12,717,088	14,838,473
売上原価	8,763,486	11,105,739
売上総利益	3,953,602	3,732,733
販売費及び一般管理費	3,394,499	5,139,347
営業利益又は営業損失(△)	559,103	△ 1,406,613
営業外収益	95,482	103,840
営業外費用	164,773	75,087
経常利益又は経常損失(△)	489,812	△ 1,377,860
特別利益	480,075	1,200,569
特別損失	174,456	496,921
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	795,431	△ 674,213
法人税、住民税及び事業税	560,494	226,610
過年度法人税等	—	△ 97,621
法人税等調整額	△ 310,103	△ 30,781
少数株主利益又は少数株主損失(△)	64,613	△ 98,805
当期純利益又は当期純損失(△)	480,427	△ 673,614

(単位：千円)

連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	第9期	第10期
	2005年4月 1 日から 2006年3月31日まで	2006年4月 1 日から 2007年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,663,906	△ 5,255,296
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,182,084	1,090,825
財務活動によるキャッシュ・フロー	10,735,711	3,294,604
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,779	256
現金及び現金同等物の増減額	4,892,499	△ 869,610
現金及び現金同等物の期首残高	1,408,620	6,301,119
現金及び現金同等物の期末残高	6,301,119	5,431,509

(単位:千円)

連結株主資本等変動計算書 (2006年4月1日から2007年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	株主資本				評価・換算差額等		少数株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
2006年3月31日残高	6,281,923	7,572,923	2,552,150	16,406,998	17,482	17,482	363,637	16,788,117
連結会計年度中の変動額								
新株の発行	4,516	4,516		9,032				9,032
剰余金の配当(注)			△ 93,454	△ 93,454				△ 93,454
役員賞与(注)			△ 25,000	△ 25,000				△ 25,000
当期純損失			△ 673,614	△ 673,614				△ 673,614
連結範囲の変動			198,601	198,601				198,601
その他			393	393				393
連結範囲変更に伴う 株式売却による剰余金減少高			△ 226,866	△ 226,866				△ 226,866
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)					△ 10,345	△ 10,345	74,821	64,475
連結会計年度中の変動額合計	4,516	4,516	△ 819,940	△ 810,907	△ 10,345	△ 10,345	74,821	△ 746,432
2007年3月31日残高	6,286,440	7,577,440	1,732,210	15,596,090	7,136	7,136	438,458	16,041,685

(注) 2006年6月の株主総会における利益処分項目であります。

● 個別財務諸表（要約）

貸借対照表（単位：千円）

科 目	第9期	第10期
	2006年3月31日現在	2007年3月31日現在
資産の部		
流動資産	7,406,852	4,867,994
固定資産	10,448,642	11,055,588
有形固定資産	1,189,872	781,113
無形固定資産	119,691	30,017
投資その他の資産	9,139,078	10,244,456
資産合計	17,855,495	15,923,582
負債の部		
流動負債	1,487,039	245,028
固定負債	236,559	1,500
負債合計	1,723,598	246,529
資本の部		
資本金	6,281,923	—
資本剰余金	7,572,923	—
利益剰余金	2,261,761	—
その他有価証券評価差額金	15,286	—
資本合計	16,131,896	—
負債資本合計	17,855,495	—
純資産の部		
株主資本	—	15,672,871
資本金	—	6,286,440
資本剰余金	—	7,577,440
利益剰余金	—	1,808,991
評価・換算差額等	—	4,181
純資産合計	—	15,677,053
負債純資産合計	—	15,923,582

（注）記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書（2006年4月1日から2007年3月31日まで）

科 目	株主資本							評価・換算差額等		純資産 合計
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
		資本準備金	資本剰余金 合計		その他 利益剰余金	利益剰余金 合計				
2006年3月31日残高	6,281,923	7,572,923	7,572,923	4,750	2,257,011	2,261,761	16,116,609	15,286	15,286	16,131,896
事業年度中の変動額										
新株の発行	4,516	4,516	4,516				9,032			9,032
剰余金の配当（注）					△ 93,454	△ 93,454	△ 93,454			△ 93,454
役員賞与（注）					△ 25,000	△ 25,000	△ 25,000			△ 25,000
当期純損失					△ 334,315	△ 334,315	△ 334,315			△ 334,315
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額（純額）								△ 11,105	△ 11,105	△ 11,105
事業年度中の変動額合計	4,516	4,516	4,516		△ 452,769	△ 452,769	△ 443,737	△ 11,105	△ 11,105	△ 454,842
2007年3月31日残高	6,286,440	7,577,440	7,577,440	4,750	1,804,241	1,808,991	15,672,871	4,181	4,181	15,677,053

（注）2006年6月の株主総会における利益処分項目であります。

損益計算書（単位：千円）

科 目	第9期	第10期
	2005年4月 1 日から 2006年3月31日まで	2006年4月 1 日から 2007年3月31日まで
売上高	3,144,725	1,534,631
売上原価	1,539,697	834,907
売上総利益	1,605,027	699,723
販売費及び一般管理費	1,056,694	1,151,746
営業利益又は営業損失（△）	548,333	△ 452,022
営業外収益	82,544	83,520
営業外費用	62,948	3,664
経常利益又は経常損失（△）	567,930	△ 372,165
特別利益	10,471	2,241
特別損失	—	90,492
税引前当期純利益又は 税引前当期純損失（△）	578,401	△ 460,416
法人税、住民税及び事業税	333,647	2,571
過年度法人税等	—	△ 97,621
法人税等調整額	△ 72,046	△ 31,049
当期純利益又は当期純損失（△）	316,800	△ 334,315
前期繰越利益	1,940,211	—
当期末処分利益	2,257,011	—

会社概要／株式の状況（2007年3月31日現在）

会社名	株式会社アイロムホールディングス
設立年月日	1997年（平成9年）4月9日
資本金	6,286,440千円
本社所在地	〒141-0032 東京都品川区大崎1-2-2
連結従業員数	502人
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
会計監査人	監査法人ナカチ
グループ会社	株式会社アイロム 株式会社アイロムスタッフ 株式会社アイロムメディック 株式会社アソーニング アイロム・プロスタッフ株式会社 有限会社アイ・エム・ファンド 株式会社アイロムロハス 株式会社シニアライフプラン アイロム製菓株式会社 株式会社アイオロパス 株式会社アイロムエーアイ 株式会社アポテカ 株式会社ビューティアンドヘルスリサーチ 株式会社ウイング湘南 株式会社アイクロス
発行可能株式総数	3,728,168株
発行済株式の総数	935,142株
株主数	24,811名

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	同事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
定時株主総会	毎年6月	同事務取扱所 （お問合せ先） （郵便物送付先）	〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-288-324（フリーダイヤル）
基準日	3月31日 そのほか必要がある場合には、あらかじめ 公告いたします。	同 取 次 所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
期末配当基準日	3月31日 なお中間配当を実施するときの株主確定 日は9月30日	公 告 掲 載 新 聞	日本経済新聞
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社		